

景気動向調査

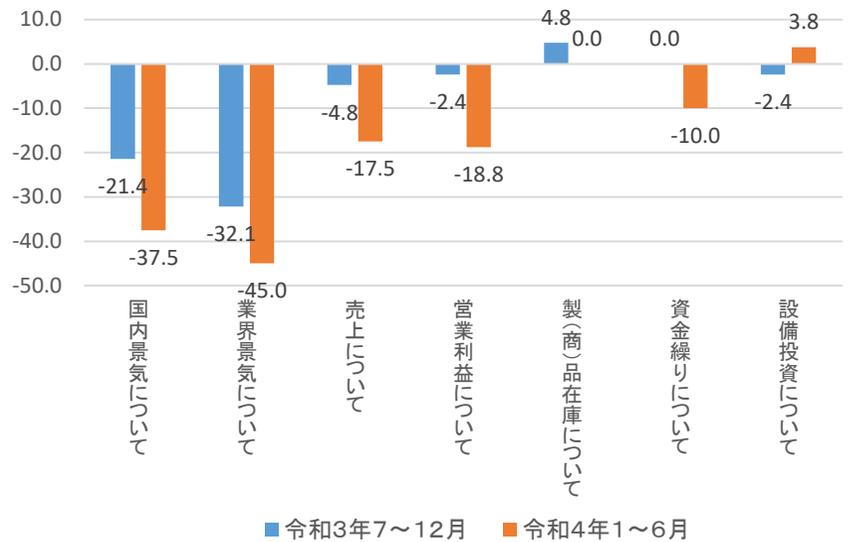
水産加工業

令和4年1～6月期

調査概要

調査時期	令和4年8月9日～令和4年8月31日	
対象時期	1期：令和4年1月～3月（実績）	令和4年4月～6月（次期）
	2期：令和4年4月～6月（実績）	令和4年7月～9月（次期）
対象	水産加工業者 40社	
回答率	50.0%	
調査方法	郵送によるアンケート方式	
調査内容	①業界景気、自社景況などの実績と次期予測	
	②経営上の課題	
	③新型コロナウイルスの事業への影響、行政に望む支援など（自由記述）	

B.S.I値



調査総評

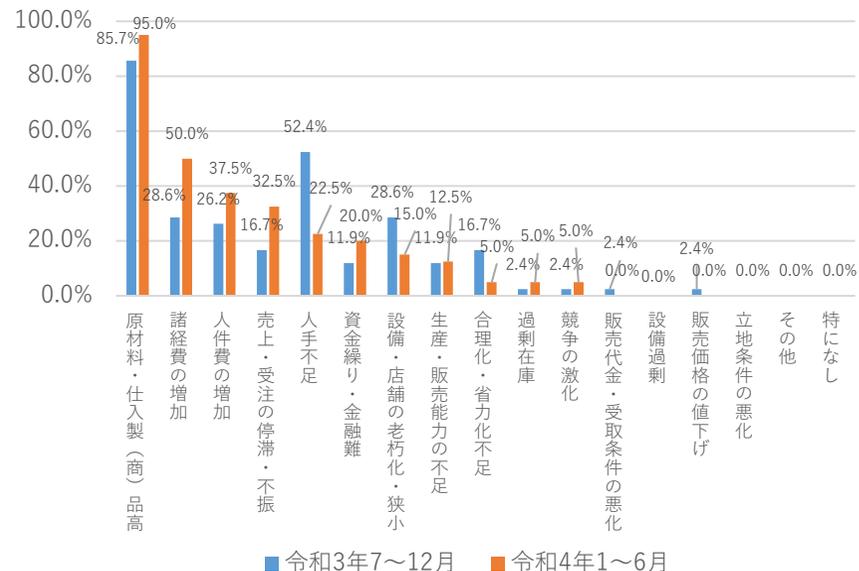
(1) B.S.I値

国内景気・業界景気ともに、前回調査期間よりも下落している。売上・営業利益も同様に、経営を取り巻く環境が悪化していることがわかる

(2) 経営上の課題

「原材料・仕入製(商)品高」に95.0%もの回答が集まった。前回調査時でも85%を超えていたが、その状況がさらに加速した。諸経費や人件費の増加も回答率が上昇しており、経営を圧迫する要素になっていることがわかる

経営上の課題

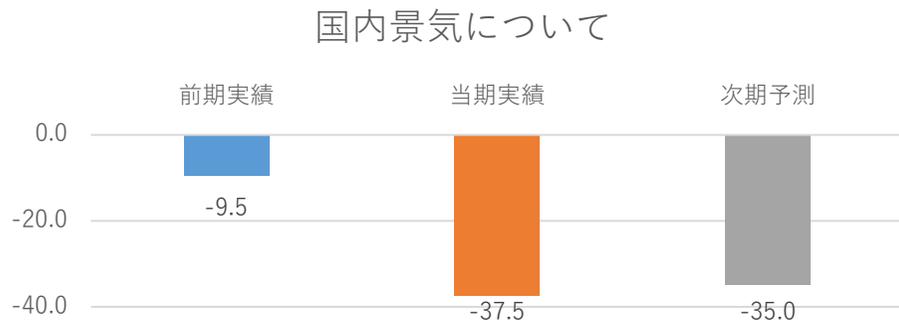


1. 【質問1】 集計結果

－ B.S.I で見る業種別景気動向－

(1) 国内景気について

■ 1～3月期



前期と比較して、BSI値が大幅に下落した。次期（4～6月期）も同様の状況が続く見通しに。

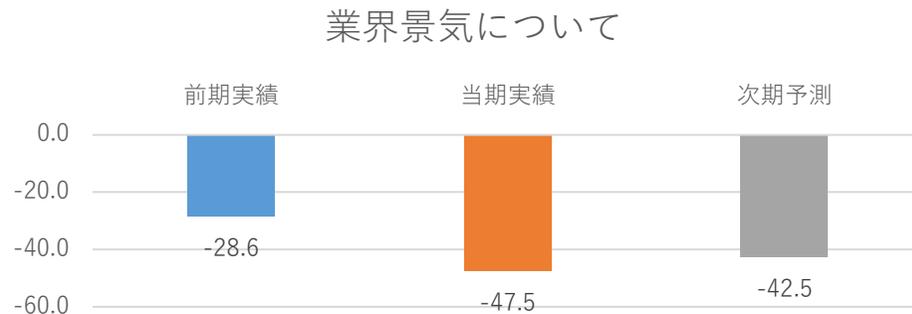
■ 4～6月期



前期の見通しどおり、横ばいの推移となった。次期も（7～9月期）も厳しい状況が続く予測に。

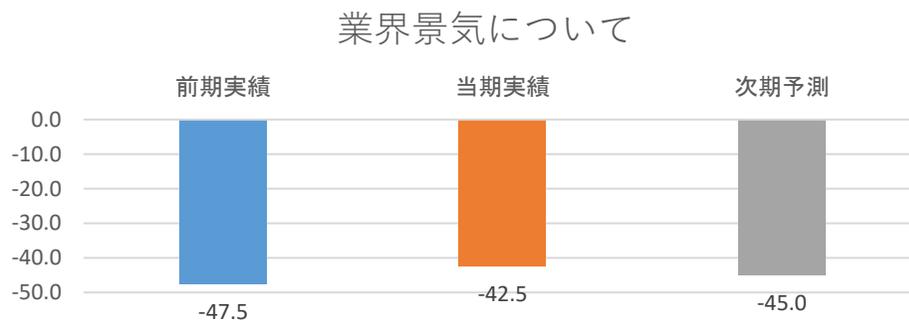
(2) 業界景気について

■ 1～3月期



当期実績値△47.5は、負の最大値に近い数字（△50.0が負の最大）を記録。ほとんどの回答者が業界景気が悪化していると捉えている。

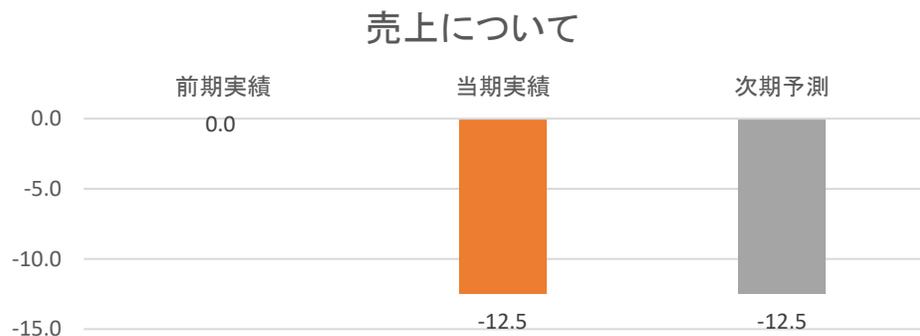
■ 4～6月期



前期実績値より若干の回復をみせたが、依然として△40ポイント台と、非常に苦しい状況がうかがえる。

(3) 売上気について

■ 1～3月期



前期実績比で△12.5ポイントと、やや落ち込み傾向にあった。次期も回復は見込めず、現状が続く見通しとなった。

■ 4～6月期



前期実績値よりさらに10ポイント数値を落とし、状況の悪化が垣間見える。次期も回復は見込めず、厳しい状況が続く見通しに。

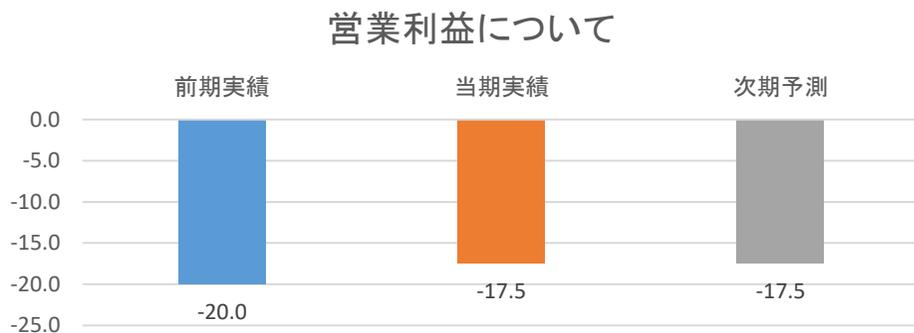
(4) 営業利益について

■ 1～3月期



前期調査時の回答はプラスの要素が上回っていたが、当期に入りマイナスに転落。20ポイント以上の落ち込みを見せた。

■ 4～6月期

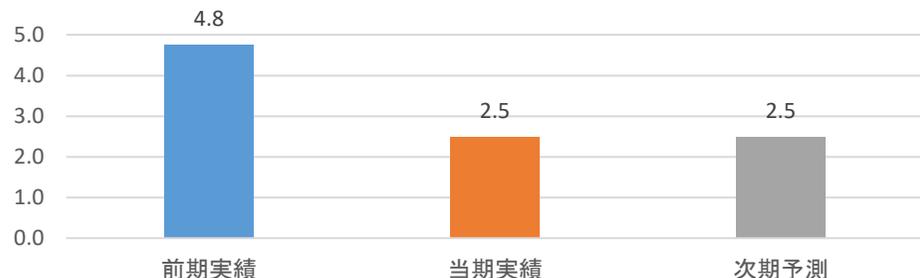


前期実績値と比較して若干の回復をみせるも、大きく状況は変わっていない。次期予測も、改善の見通しとはならなかった。

(5) 製(商)品在庫について

■ 1～3月期

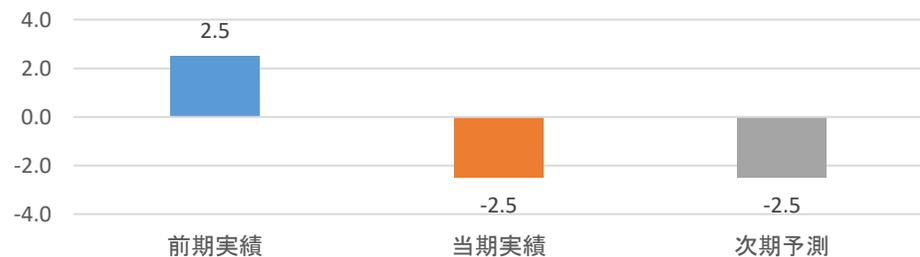
製(商)品在庫について



前期実績値より若干減少したものの、大きな変動はない。わずかながら在庫過少の傾向にあり、次期も大きな変動はない。

■ 4～6月期

製(商)品在庫について

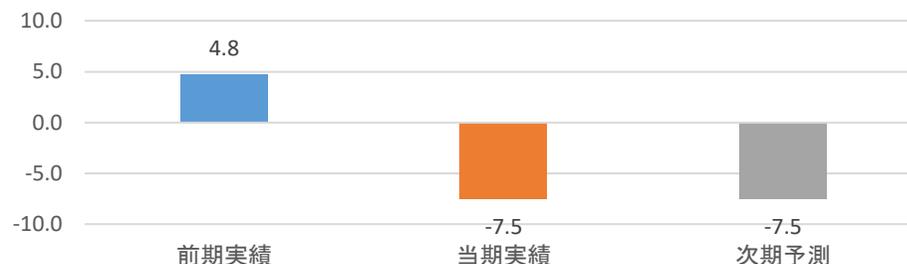


前期実績値より数ポイント下落。わずかながら在庫過多に転じた。

(6) 資金繰りについて

■ 1～3月期

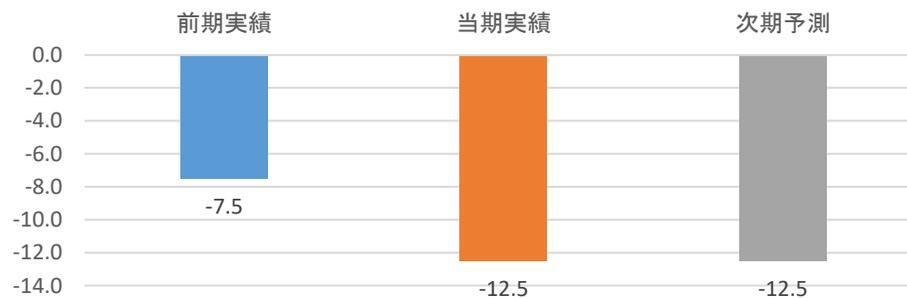
資金繰りについて



前期実績値より、約10ポイント下落。資金繰りについて、やや難しい状況に傾いている。次期予測も同様。

■ 4～6月期

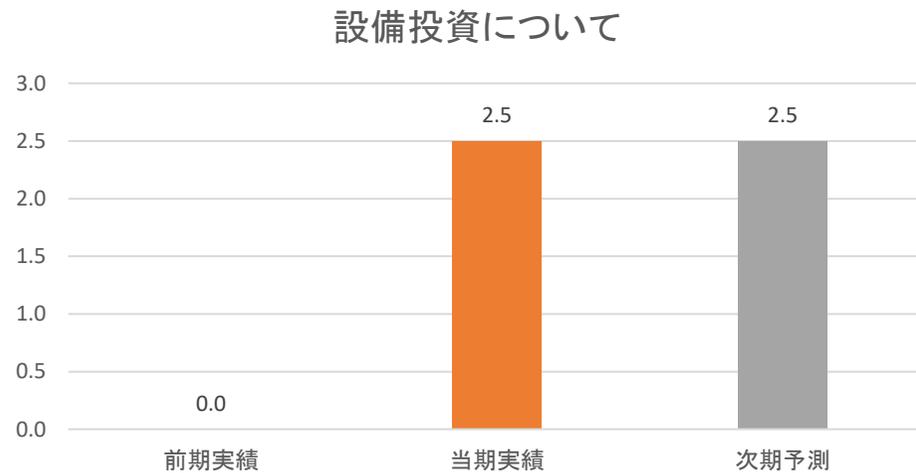
資金繰りについて



前期実績値より、さらに数値を落とした。二期前の調査と比較して、約15ポイント下落したこととなる。改善の見通しは見られなかった。

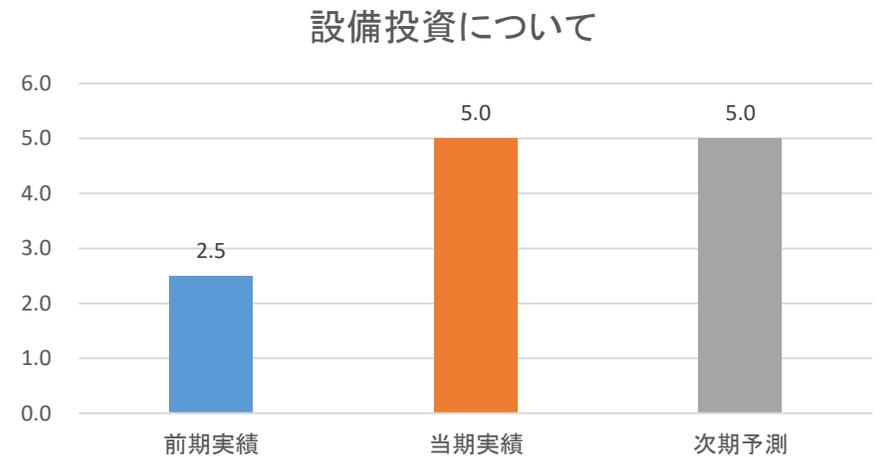
(7) 設備投資について

■ 1～3月期



前期実績値より若干上昇したものの、大きな変動はない。次期も同様の見通し。

■ 4～6月期



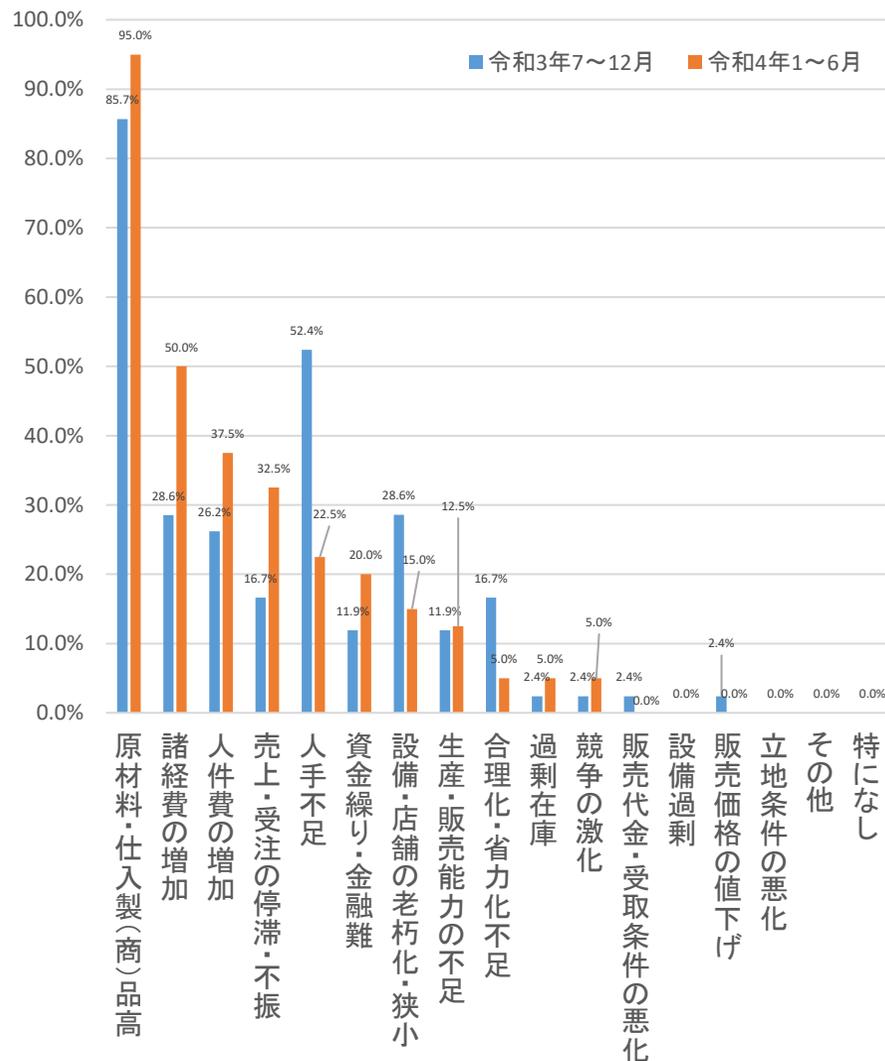
前期実績値より、若干上昇したものの、大きな変動はない。次期も同様の見通し。

2. 【質問2】 集計結果

－業種別、経営上の課題－

(2) 経営上の課題

経営上の課題 令和4年1～6月期



- ・「原材料・仕入製（商）品高」は、95.0%の回答を集め、ほとんどの事業者が原材料等の高騰に苦慮していることがわかる
- ・「諸経費の増加」は、前回調査時より20%以上、回答率が増加。同様に「人件費の増加」にも多く回答が集まった
- ・前期と数値の比較すると、経営上の課題に変化がみられる

3. 【質問3】 寄せられた声

新型コロナウイルス感染症流行拡大による
事業への影響や、要望する支援

自由記述（新型コロナウイルスの事業への影響、要望する支援、他）

- ・ 原材料高騰に対する補助
- ・ 物価高対策
- ・ 現状の価値に見合った固定資産税
- ・ 営業形態の都合上、時短営業ができず、補償を受けることができなかった
- ・ 電気料金の値上げへの対応に苦慮
- ・ 雇用調整助成金の特例継続

参考

設問様式等

B.S.Iとは

- 「Business Survey Index（ビジネス・サーベイ・インデックス）」の略で、景況判断指数のひとつ
- 現在の景気水準をはかるDI（ディフュージョン・インデックス）に対して、BSIは前期と現在の景気状況を比較するため、景気の方角性を判断できる
- 下記の計算式で算出された数値が、プラスであれば景気に対する判断は上向き、マイナスであれば下向きと判断する

計算式：（「上昇：好調の要素」－「下降：不調の要素」）÷2

※最大値はプラスマイナスいずれも「50」となる

質問事項

以下の項目について、当期実績および次期予測を伺います。選択肢から該当するものを選び解答欄にご記入ください。

	項 目	回答欄	
		当期実績	次期予測
1	国内景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
2	貴業界景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
3	貴社 売上について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
4	貴社 営業利益について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
5	貴社 製(商)品在庫について 1. 過少 2. やや過少 3. 不変 4. やや過多 5. 過多		
6	貴社 資金繰りについて 1. 容易 2. やや容易 3. 不変 4. やや困難 5. 困難		
7	貴社 設備投資について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		

質問事項

経営上の課題について、該当するものを3つまで選び、ご記入ください。

合理化・省力化不足

設備・店舗等の老朽化・狭小

原材料・仕入製（商）品高

販売代金・受取条件の悪化

設備過剰

売上・受注の停滞・不振

資金繰り・金融難

人手不足

人件費の増加

過剰在庫

販売価格の値下げ

競争の激化

生産・販売能力の不足

諸経費の増加

立地条件の悪化

その他（ ）

特になし